

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 宮城県気仙沼市立大谷中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒988-0273  
宮城県気仙沼市本吉町三島60-4

E-mail : ohya-chu@kesenuma.ed.jp

Website : http://www.kesenuma.ed.jp/ooya-cyuu/html/htdocs/

児童生徒数：男子 54 名 女子 40 名 合計 94 名  
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### (1) 実践の概要

宮城県気仙沼市の南部に位置する大谷地区は、リアス式海岸の海と緑豊かな山々に囲まれた自然あふれる地域である。大谷ハチドリ計画とは「ハチドリの物語」から名付けられたもので「松枯れ対策(山)、磯焼け調査(海)、ふゆみずたんぼ」をとおして環境保全教育に取り組んでいるものである。震災後はテーマを一部変更しながらふゆみずたんぼを中心に地域に根ざした活動を展開している。

### (2) 今年度、特に工夫・改善したこと

#### ①ユネスコスクールとしての交流

震災後、毎年兵庫県立舞子高等学校が来校して、環境と防災についてワークショップを行ったり、田んぼの除草作業を行ったりしている。昨年度は舞子高校で行われた世界防災サミットに本校の生徒が参加した。今年度は石巻で行われたシンサイミライ学校で交流をするはずであったが、台風の影響で舞子高校は不参加になった。その後、代替地の田んぼでつくった米(大谷っこ米)を舞子高校に送った。以前大谷中学校に来校した舞子高校の卒業生にもその旨を連絡したということで、つながりを大切にしている。

また、東京都多摩市立東愛宕中学校との交流の中から多摩市の「ゴーヤン」にあやかり、環境教育のイメージキャラクター「マンベイ」が誕生した。校内コンクールを実施して日本吉町の魚であるマンボウとふゆみずたんぼの米(ベイ)を組み合わせたものが選ばれた。今年度は、修学旅行の機会に3年生が東愛宕中学校を訪問し、被災地の様子を紹介したり、大漁旗の法被を着て創作のよさこいを披露したりするなど、交流を深めてきた。さらに10月末に下村文部科学大臣臨席のWeb会議をとおして東愛宕中と大谷中の生徒会が震災当時の避難所対応について意見交換を行った。東愛宕中とは岡山市で行われたESD世界大会にも一緒に参加し、多摩市立永山中や岡山市立京山中とも意見交換をしたり、環境と防災に関する発表を行ったりした。

愛媛県西宇和郡伊方町立三崎中学校との交流では、震災の様子などを直接出向いて伝える機会をつくっていただき、ユネスコスクール加盟への後押しとなる活動も行ってきた。

#### ②地域の自然とのつながり

総合的な学習の時間を「なみま」と呼び、その中で大谷ハチドリ計画を展開している。1年生がテーマとした「大谷の森」について、学校林を現地調査して地域の植物や森林について学習を進めることができた。また2年生がテーマとした「大谷の海」については、大谷海岸の清掃や磯場調査などを実施し、その後の学習活動に生かすことができた。さらに3年生のテーマである「ふゆみずたんぼ」に関しては、昨年までの田んぼが区画整備で使用できなくなり、代替地を借用して米づくりを継続した。昨年度までの資料と比較できるデータの収集を行って探究活動につなげることができた。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)  
 時間外活動の時間を使用  
 ユネスコクラブの活動として実施  
 その他( )